

浄化槽設置整備事業資金貸付申請書

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

住 所	TEL
申請者 氏 名	生年月日 昭和 年 月 日
勤務先	TEL
住 所	TEL
連帯保証人 氏 名	生年月日 昭和 年 月 日
勤務先	続柄

苫小牧市浄化槽設置整備資金の貸付を受けたいので、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第8条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

使用水の種類	☐ 水道水（栓番号 ） ☐ 地下水
見積工事費	円
貸付申請額	円

添付書類

- 申請者及び連帯保証人の収入状況を確認できる書類（道市民税課税証明書等）
- 連帯保証人の道市民税、固定資産税等を完納していることを証明する書類（納税証明書等）
- 排水設備等工事費見積内訳書（様式第2号）
- 排水設備（放流設備含む）・水洗化に関する図面
- その他市長が必要と認める書類

※ 下欄は、記入しないでください

台帳番号	—					
添付書類確認	☐ 申請者及び連帯保証人の収入状況を確認できる書類	貸付決定	☐ 貸付する			
	☐ 連帯保証人の道市民税、固定資産税等を完納していることを証明する書類		☐ 貸付しない			
	☐ 排水設備等工事費見積内訳書（様式第2号）	貸付予定額	円			
	☐ 排水設備（放流設備含む）・水洗化に関する図面					
	☐ その他市長が必要と認める書類	通知書送付月日	年 月 日			
決 裁	部長	室長	課長	主査	担当者	備考
・						

浄化槽設置整備事業資金貸付申請書

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

申請者	住 所	TEL	
	ふりがな氏 名	生年月日	昭和 平成 年 月 日
	勤 務 先	TEL	
納入代理人	住 所	TEL	
	ふりがな氏 名	生年月日	昭和 平成 年 月 日
	勤 務 先	続柄	
連帯保証人	住 所	TEL	
	ふりがな氏 名	生年月日	昭和 平成 年 月 日
	勤 務 先	続柄	

苫小牧市浄化槽設置整備資金の貸付を受けたいので、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第8条にの規定に基づき、下記のとおり申請します。

使用水の種類	☐ 水道水（栓番号 _____）
	☐ 地下水
見 積 工 事 費	円
貸 付 申 請 額	円

添付書類

- 1. 納入代理人及び連帯保証人の収入状況を確認できる書類（道市民税課税証明書等）
- 2. 納入代理人及び連帯保証人の道市民税、固定資産税等を完納していることを証明する書類（納税証明書等）
- 3. 排水設備等工事費見積内訳書（様式第2号）
- 4. 排水設備（放流設備含む）・水洗化に関する図面
- 5. その他市長が必要と認める書類

※ 下欄は、記入しないでください

台帳番号		—					
添付書類確認	☐ 納入代理人及び連帯保証人の収入状況を確認できる書類				貸付決定	☐ 貸付する	
	☐ 納入代理人及び連帯保証人の道市民税、固定資産税等を完納していることを証明する書類					☐ 貸付しない	
	☐ 排水設備等工事費見積内訳書（様式第2号）				貸付予定額	円	
	☐ 排水設備（放流設備含む）・水洗化に関する図面						
	☐ その他市長が必要と認める書類				通知書送付月日	年 月 日	
決 裁	部長	次長	課長	主査	担当者	備考	
・							

排水設備等工事費見積内訳書

設置者	住 所		契 約 年月日	年 月 日		
	氏 名		契約金額			
施工業者	住 所		円			
	会 社 名		工事予定期間			
	代 表 者 名		自	年	月	日
			至	年	月	日
工 種	形状寸法	単位	単価	数量	金額	備 考
排水設備等工事						
排水設備工事						
塩ビ管布設工	φ 100	m				
塩ビ桝設置工	φ 100 × φ 150-90T	ヶ所				
〃	φ 100 × φ 150-90L	ヶ所				
〃	φ 100 × φ 150-45YS	ヶ所				
土工						掘削・埋戻
既設桝撤去工		ヶ所				処理費含む
小 計						
水洗化改造工事						
水抜栓設置工		ヶ所				
ポリ管布設工		m				
継手工		式				
便器・便座設置工		個				
土工		式				掘削・埋戻
大工工事		式				
便槽撤去工		ヶ所				処理費含む
小 計						
放流管設備工事						
塩ビ管布設工	φ 100					
塩ビ桝設置工		ヶ所				
〃		ヶ所				
土工		式				掘削・埋戻
小 計						
計						
諸 経 費		式				
工 事 費 計						
消 費 税						
合 計						

浄化槽設置整備事業資金貸付決定通知書

年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊

年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業資金の貸付について、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第9条に基づき審査の結果記のとおり貸付を決定しましたので通知します。

記

1. 貸付予定額

貸付予定額	円
台帳番号	—

今後の、提出書類に記入してください

2. 工事の完了 年 月 日までに完了させ、完了届を提出してください。
3. 貸付金額は、工事費の精算額により変更することがあります。
4. 次の各号のいずれかに該当するときは、貸付の決定を取り消し、又は貸付額を変更することがあります。
- (1) 虚偽の申請その他不正な方法により貸付決定を受けたとき。
 - (2) 工事完成検査の結果、当該工事の内容が設計書の内容と著しく異なるとき。
 - (3) その他、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱に違反したとき。
 - (4) その他市長が特に必要と認めたとき。
5. 貸付確定金額は、工事完了届審査後に浄化槽設置整備事業資金貸付額確定通知書（様式第8号）により通知します。

浄化槽設置整備事業資金貸付審査結果通知書

年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊

年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業資金の貸付について、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第9条に基づき審査の結果、下記のとおり貸付することを不相当と認めたので通知します。

記

（理 由）

工 事 完 了 届

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

台帳番号 ー

(貸付決定者) 住 所
氏 名

年 月 日付で貸付決定を受けた工事が完了しましたので、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第10条の規定に基づき、工事完了届を提出します。

1 貸 付 予 定 額	円
2 工事完了年月日	年 月 日

添付書類

1. 排水設備等工事費実績内訳書（様式第6号）
2. 排水設備（放流設備含む）・水洗化に関する完成図面
3. 施工状況写真
4. 排水設備等工事検査確認書（様式第7号）
5. その他市長が必要と認める書類

※ 下欄は、記入しないでください

添付書類確認	☐ 排水設備等工事費実績内訳書（様式第6号）	現地確認		年 月 日		
	☐ 排水設備・水洗化に関する完成図面	確認者 職				
	☐ 施工状況写真	氏名				
	☐ 排水設備等工事検査確認書（様式第7号）	貸付確定額	円			
	☐ その他市長が必要と認める書類	確定通知書送付年月日	年 月 日			
決 裁	部 長	室 長	課 長	主 査	担 当 者	備 考
・						

排水設備等工事費実績内訳書

設置者	住 所		契 約 年月日	年 月 日		
	氏 名		契約金額			
施工業者	住 所		円			
	会 社 名					
	代 表 者 名		工事予定期間			
			自	年	月	日
			至	年	月	日
工 種	形状寸法	単位	単価	数量	金額	備 考
排水設備等工事						
排水設備工事						
塩ビ管布設工	φ 100	m				
塩ビ桝設置工	φ 100 × φ 150-90T	ヶ所				
〃	φ 100 × φ 150-90L	ヶ所				
〃	φ 100 × φ 150-45YS	ヶ所				
土工						掘削・埋戻
既設桝撤去工		ヶ所				処理費含む
小 計						
水洗化改造工事						
水抜栓設置工		ヶ所				
ポリ管布設工		m				
継手工		式				
便器・便座設置工		個				
土工		式				掘削・埋戻
大工工事		式				
便槽撤去工		ヶ所				処理費含む
小 計						
放流設備工事						
塩ビ管布設工	φ 100					
塩ビ桝設置工		ヶ所				
〃		ヶ所				
土工		式				掘削・埋戻
小 計						
計						
諸 経 費		式				
工 事 費 計						
消 費 税						
合 計						

排水設備等工事検査確認書

使用水

☐ 水道水

☐ 井戸水

水道水使用者は、給水装置の完成図面及び検定書の写しを添付してください

施工場所所有者

施行業者会社名

代表者名

排水設備			給水装置（地下水使用の場合のみ）			給水装置（地下水使用の場合のみ）					
検査項目		検査内容	検査項目		検査内容	使用材料					
屋内	排水管	☐ 排水器具と排水管が完成図書と整合する	屋外	止水栓	☐ 止水栓は逆付け及び傾きがない	品名	型式(規格等)	検査承認の確認			
		☐ 口径・勾配・管路が適正である。		☐ スピンドルの位置が筐の中心にある							
		☐ 1階の汚水・雑排水が別系統で適正である		埋設管	☐ 他人の土地に埋設されていない			☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認	
	☐ 2階建ての2階は汚水・雑排水が別系統である	管延長	☐ 土被りが適正に確保されている								
	☐ 2階建ての2階は汚水・雑排水が合流である	配管	配管	☐ 完成図書と整合している			☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
	☐ 凍結防止の保温等が適正である		接合	☐ 給水用具等が完成図面と整合する							
接続	☐ 適正な接続である		管種	☐ 配管の口径・管路・構造等が適正である			☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
トラップ	☐ トラップの位置・設置が適正である	給水用具	器具	☐ 適切な接合が行われている							
掃除口	☐ 封水深さは5cm以上10cm以下である		接続	☐ 性能基準適合品が使用されている			☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
	☐ ダブルトラップでなく適正である	共通事項									
通気管	☐ 掃除口の位置が適正である。	検査項目	検査内容				☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
屋外	排水管	☐ 設置の施工方法が適正である	完成図	位置図						☐ 施工箇所が確認できるよう明記されている	
		平面図		☐ 方位が記載されている			☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
				☐ 敷地境界寸法が明記されている							
	桝	☐ 土砂・砂利等の異物がない		☐ 建物の位置・各室の用途及び構造が明記されている			☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
		☐ 桝の位置が適正である	☐ 完成寸法等（材質・口径・延長・勾配等）が記入されている								☐ J I S
管路延長 桝の深さ・勾配	☐ 口径・勾配が適正である	立面図	☐ が記入されている				☐ J I S	☐ 第三者承認	☐ 自己承認		
	☐ 高さ・防護が適正である	工事検査について確認したので報告します。								検査確認年月日	
屋内・外	阻集器（トラップ）	☐ 高さ・防護が適正である	年月日			年 月 日		報告事項 その他			
		☐ 泥留めが確保されている	排水設備責任技術者名								
		間接排水	☐ 器具との排水口空間が適正である	給水装置工事主任技術者名（井戸水使用の場合のみ）							
	便槽又は浄化槽処理	☐ 便槽・浄化槽の処理が適正である									
		☐ 完全撤去 ☐ 上部撤去									

浄化槽設置整備事業資金貸付額確定通知書

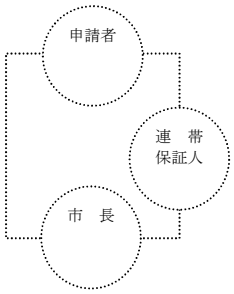
年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊

年 月 日付けで工事完了届のあった浄化槽設置整備事業資金について、
苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第 1 1 条に基づき、下記のとおり貸付額が確定
しましたので通知します。

1 貸 付 金 額	
2 貸 付 予 定 日	年 月 日
3 貸 付 手 続 期 日	年 月 日
4 貸 付 手 続 場 所	
5 担 当 者	苫小牧市環境衛生部
6 貸付手続当日持参するもの	
(1) 本通知書	
(2) 浄化槽設置整備事業資金貸借契約書（様式第9号）	
(3) 借受人（納入代理人）及び連帯保証人の印鑑登録証明書及び登録印鑑	
(4) 浄化槽設置整備事業資金貸付金請求書（様式第10号）	
7 都合により貸付手続期日までに手続ができない場合は、あらかじめ連絡してください。	



浄化槽設置整備事業資金貸借契約書

苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱（以下「要綱」という。）に基づく資金の貸借について、苫小牧市（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）との間に次の条項により契約を締結する。

第1条 甲は、乙に対し、次に表示する資金を貸付ける。

金 額	円也
-----	----

第2条 乙は、貸付を受ける資金を浄化槽設置整備の用途に使用するものとする。

第3条 償還期間は、 年 月 末日から 年 月 末日までの ヶ月間とする。

第4条 乙は、借入した金額を下表償還表により甲に償還するものとする。

第5条 乙は、元利金の支払期日又は第7条により繰上げ償還を請求された場合において指定期日に元利金を弁済しないときは、その期日の翌日から弁済当日まで弁済すべき金額に対し、年9.1パーセントの延滞金を甲に支払うものとする。

第6条 連帯保証人は、乙と連携して、この契約による一切の責務を履行する責に任ずるものとする。

第7条 乙は、次の各号の一に該当した場合には、甲の請求により期限前でも償還未済額の全部又は一部を弁済するものとする。

- (1) 虚偽の申請その他不正な方法により貸付を受けたとき。
- (2) 貸付金の交付を受けた者が、建物の所有者又は使用者でなくなったとき。
- (3) 貸付金の償還を怠ったとき。

第8条 乙は、前各条に定めるもののほか、要綱を遵守するものとする。

この契約を証するため、本書2通を作成し、甲、乙及び連帯保証人記名押印のうえ、甲、乙各1通を保有する。

年 月 日

住 所 苫小牧市旭町4丁目5番6号
甲 氏 名 苫小牧市長 金 澤 俊 印

住 所
乙 氏 名 印

住 所
連帯保証人 氏 名 印

償 還 表	回数	区分	年 月	償還金額	償還期限
	第 1 回	償還	年 月 分	円	年 月 日
	第 2 回	償還から	年 月 分から	毎月 円	毎 月 2 5 日
	第 回	償還まで	年 月 分まで		
	計		ヶ月	円	

浄化槽設置整備事業資金貸借契約書

苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱（以下「要綱」という。）に基づく資金の貸借について、苫小牧市（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）との間に次の条項により契約を締結する。

第1条 甲は、乙に対し、次に表示する資金を貸付ける。

申請者

金 額

円也

第2条 乙は、貸付を受ける資金を浄化槽設置整備の用途に使用するものとする。

第3条 償還期間は、年 月末日から 年 月末日までの ヶ月間とする。

第4条 乙は、借入した金額を下表償還表により甲に償還するものとする。

第5条 乙は、元利金の支払期日又は第7条により繰上げ償還を請求された場合において指定期日に元利金を弁済しないときは、その期日の翌日から弁済当日まで弁済すべき金額に対し、年9.1パーセントの延滞金を甲に支払うものとする。

連 帯
保証人

第6条 連帯保証人は、乙と連携して、この契約による一切の責務を履行する責に任ずるものとする。

第7条 乙は、次の各号の一に該当した場合には、甲の請求により期限前でも償還未済額の全部又は一部を弁済するものとする。

- (1) 虚偽の申請その他不正な方法により貸付を受けたとき。
- (2) 貸付金の交付を受けた者が、建物の所有者又は使用者でなくなったとき。
- (3) 貸付金の償還を怠ったとき。

第8条 乙は、前各条に定めるもののほか、要綱を遵守するものとする。

市 長

この契約を証するため、本書2通を作成し、甲、乙及び連帯保証人記名押印のうえ、甲、乙各1通を保有する。

年 月 日

住 所 苫小牧市旭町4丁目5番6号

甲

氏 名 苫小牧市長 金 澤 俊 印

住 所

乙

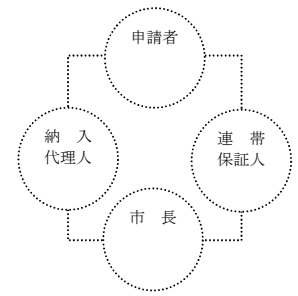
氏 名 印

住 所

連帯保証人

氏 名 印

償 還 表	回数	区分	年 月	償還金額	償還期限
	第 1	回償還	年 月分	円	年 月 日
	第 2	回償還から	年 月分から	毎月 円	毎 月 2 5 日
	第	回償還まで	年 月分まで		
		計	ヶ月	円	



浄化槽設置整備事業資金貸借契約書

苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱（以下「要綱」という。）に基づく資金の貸借について、苫小牧市（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）との間に次の条項により契約を締結する。

第1条 甲は、乙に対し、次に表示する資金を貸付ける。

申請者

金 額

円也

第2条 乙は、貸付を受ける資金を浄化槽設置整備の用途に使用するものとする。

第3条 償還期間は、 年 月 末日から 年 月 末日までの ヶ月間とする。

第4条 乙は、借入した金額を下表償還表により甲に償還するものとする。

第5条 乙は、元利金の支払期日又は第7条により繰上げ償還を請求された場合において指定期日に元利金を弁済しないときは、その期日の翌日から弁済当日まで弁済すべき金額に対し、年9.2パーセントの延滞金を甲に支払うものとする。

納入代理人

第6条 連帯保証人は、乙と連携して、この契約による一切の責務を履行する責に任ずるものとする。

第7条 乙は、次の各号の一に該当した場合には、甲の請求により期限前でも償還未済額の全部又は一部を弁済するものとする。

(1) 虚偽の申請その他不正な方法により貸付を受けたとき。

(2) 貸付金の交付が受けた者が、建物の所有者又は使用者でなくなったとき。

(3) 貸付金の償還を怠ったとき。

連帯保証人

第8条 乙は、前各条に定めるもののほか、要綱を遵守するものとする。

この契約を証するため、本書2通を作成し、甲、乙及び連帯保証人記名押印のうえ、甲、乙各1通を保有する。

年 月 日

市長

住 所 苫小牧市旭町4丁目5番6号

甲

氏 名 苫小牧市長 金 澤 俊 印

住 所

乙

氏 名 印

住 所

納入代理人

氏 名 印

住 所

連帯保証人

氏 名 印

償 還 表	回数	区分	年 月	償還金額	償還期限
	第 1	回償還	年 月 分	円	年 月 日
	第 2	回償還から	年 月 分から	毎月 円	毎 月 2 5 日
	第	回償還まで	年 月 分まで		
		計	ヶ月	円	

浄化槽設置整備事業資金貸借契約書

苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱（以下「要綱」という。）に基づく資金の貸借について、苫小牧市（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）との間に次の条項により契約を締結する。

第1条 甲は、乙に対し、次に表示する資金を貸付ける。

申請者

金 額	円也
-----	----

第2条 乙は、貸付を受ける資金を浄化槽設置整備の用途に使用するものとする。

第3条 償還期間は、年 月末日から 年 月末日までの ヶ月間とする。

第4条 乙は、借入した金額を下表償還表により甲に償還するものとする。

第5条 乙は、元利金の支払期日又は第7条により繰上げ償還を請求された場合において指定期日に元利金を弁済しないときは、その期日の翌日から弁済当日まで弁済すべき金額に対し、年9.2パーセントの延滞金を甲に支払うものとする。

納入代理人

第6条 連帯保証人は、乙と連携して、この契約による一切の責務を履行する責に任ずるものとする。

第7条 乙は、次の各号の一に該当した場合には、甲の請求により期限前でも償還未済額の全部又は一部を弁済するものとする。

(1) 虚偽の申請その他不正な方法により貸付を受けたとき。

(2) 貸付金の交付を受けた者が、建物の所有者又は使用者でなくなったとき。

(3) 貸付金の償還を怠ったとき。

連帯保証人

第8条 乙は、前各条に定めるもののほか、要綱を遵守するものとする。

この契約を証するため、本書2通を作成し、甲、乙及び連帯保証人記名押印のうえ、甲、乙各1通を保有する。

年 月 日

市長

住所 苫小牧市旭町4丁目5番6号
甲 氏名 苫小牧市長 金 澤 俊 印

住所
乙 氏名 印

住所
納入代理人 氏名 印

住所
連帯保証人 氏名 印

償 還 表	回数	区分	年 月	償還金額	償還期限
	第 1	回償還	年 月分	円	年 月 日
	第 2	回償還から	年 月分から	毎月 円	毎 月 2 5 日
	第	回償還まで	年 月分まで		
		計	ヶ月	円	

浄化槽設置整備事業資金貸付金請求書

貸付金請求額 金 円

ただし、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第13条に基づき、
年 月 日に契約締結した、浄化槽設置整備事業資金貸付金を上
記のとおり請求します。

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

台帳番号 ー
住 所
(借受人) 氏 名
電話番号

振込先

金融機関名		
口座番号	普通・当座	ー
ふりがな 口座名義人		

浄化槽設置整備事業資金貸付金償還（免除・猶予）申請書

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

台帳番号 ー
借受人 住 所
氏 名
連 帯 住 所
保証人 氏 名

年 月 日浄化槽設置整備事業資金の貸付を受けましたが、この度、貸付金償還の免除・猶予を受けたいので苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第14条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

未償還	期 間		年 月分から	年 月分まで	ヶ月分
	金 額		円/月×	ヶ月	円
免除	一部	期間	年 月分から	年 月分まで	ヶ月分
		金額	円/月×	ヶ月	円
	全部	期間	年 月分から	年 月分まで	ヶ月分
		金額	円/月×	ヶ月	円
猶予	期 間		年 月分から	年 月分まで	ヶ月間
理 由					

- 注 1. 理由は、詳しく記載すること。なお、記載しきれない場合は、別紙に記載すること。
2. 理由を証する書類の写しを添付すること。

※ 下欄は、記入しないでください

台帳番号		ー		☐ 承認する ☐ 承認しない		未償還額	円
免除	一部	免 除 額	円	承認しない理由			
	全部	差引未償還額	円				
猶予期間		年 月分～		年 月分			
決 裁	部長	室長	課長	主査	担当者	備考	
・ ・							

浄化槽設置整備事業資金貸付金償還（免除・猶予）申請書

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

	台帳番号	—
借受人	住 所	
	氏 名	
納入 代理人	住 所	
	氏 名	
連 帯 保証人	住 所	
	氏 名	

年 月 日浄化槽設置整備事業資金の貸付を受けましたが、この度、貸付金償還の免除・猶予を受けたいので苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第14条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

未償還	期 間	年 月分から 年 月分まで ヶ月分	
	金 額	円/月× ヶ月 円	
免除	一部	期間	年 月分から 年 月分まで ヶ月分
		金額	円/月× ヶ月 円
	全部	期間	年 月分から 年 月分まで ヶ月分
		金額	円/月× ヶ月 円
猶予	期 間	年 月分から 年 月分まで ヶ月間	
理 由			

注 1. 理由は、詳しく記載すること。なお、記載しきれない場合は、別紙に記載すること。
2. 理由を証する書類の写しを添付すること。

※ 下欄は、記入しないでください

台帳番号	—		☐ 承認する ☐ 承認しない		未償還額	円
免除	一部	免 除 額	円		承認しない理由	
	全部	差引未償還額	円			
猶予期間		年 月分～ 年 月分				
決 裁	部長	室長	課長	係長	担当者	備考
・ ・						

浄化槽設置整備事業資金貸付金償還（免除・猶予）決定通知書

年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊

年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業資金の貸付金償還（免除・猶予）について、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第14条の規定に基づき審査の結果、承認することと決定しましたので通知します。

記

貸付金未償還額の償還を猶予する				
未償還	期間	年 月分から	年 月分まで	ヶ月分
	金額	円/月× ヶ月		円
免除	期間	年 月分から	年 月分まで	ヶ月分
	金額	円/月× ヶ月		円
残償還	期間	年 月分から	年 月分まで	ヶ月分
	金額	円/月× ヶ月		円

浄化槽設置整備事業資金貸付金償還（免除・猶予）決定通知書

平成 年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊 印

平成 年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業資金の貸付金償還（免除・猶予）について、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第14条の規定に基づき審査の結果、承認することと決定しましたので通知します。

記

貸付金未償還額の一部の償還を免除する					
未償還	期間	平成 年 月分	から	平成 年 月分	まで ヶ月分
	金額	円/月 × ヶ月			円
免除	期間	平成 年 月分	から	平成 年 月分	まで ヶ月分
	金額	円/月 × ヶ月			円

浄化槽設置整備事業資金貸付金償還（免除・猶予）決定通知書

平成 年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊 印

平成 年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業資金の貸付金償還（免除・猶予）について、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第14条の規定に基づき審査の結果、承認することと決定しましたので通知します。

記

貸付金未償還額の償還を免除する						
猶 予 期 間	平成	年	月分	から	平成	年 月分まで ヶ月間
新 償 還 期 間	平成	年	月分	から	平成	年 月分まで ヶ月間

浄化槽設置整備事業資金貸付金償還（免除・猶予）審査結果通知書

年 月 日

様

苫小牧市長 金 澤 俊

年 月 日付で申請のありました浄化槽設置整備事業資金の貸付金償還（免除・猶予）について、苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第14条の規定に基づき審査の結果、承認しないことと決定しましたので通知します。

記

（理 由）

浄化槽設置整備事業資金貸付内容変更届

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

届出者

台帳番号 ー

借受人 住 所

氏 名

連 帯 住 所
保証人

氏 名

年 月 日浄化槽設置整備事業資金の貸付を受けましたが、内容に変更
がありましたので苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第17条に基づき、下記の
とおり届出します。

変更年月日	年 月 日	
変更内容	変 更 前	変 更 後
変更理由		
今後の償還計画	1 変更なし 2 繰上償還	

浄化槽設置整備事業資金貸付内容変更届

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

届出者

	台帳番号	—
借受人	住 所	
	氏 名	
納入 代理人	住 所	
	氏 名	
連 帯 保証人	住 所	
	氏 名	

年 月 日浄化槽設置整備事業資金の貸付を受けましたが、内容に変更
がありましたので苫小牧市浄化槽設置整備事業資金貸付要綱第17条に基づき、下記の
とおり届出します。

変更年月日	年 月 日	
変更内容	変 更 前	変 更 後
変更理由		
今後の償還計画	1 変更なし	
	2 繰上償還	

委任状

年 月 日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

委任者

住 所

氏 名

電話番号

私は、下記の者を代理人と定め、苫小牧市長と私の間とで 年 月 日付けで契約締結した、浄化槽設置整備事業資金貸付金の受領に関する権限を委任します。

代理人

所 在 地

施工業者 代表者氏名

電 話 番 号

貸付金は、下記の金融機関に振り込んでください。

金融機関名	銀行・金庫・組合			本・支店
	種目	普通・当座	口座番号	
ふりがな				
口座名義人				

浄化槽設置整備事業資金
年 月 日 貸 付 金 償 還 金 預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書

(金融機関控)



納入 名義 人	住所	(電話 —)	
	フリ カナ		
	氏名	生年月日 大・昭・平 年 月 日	

金融機関	銀行・信用金庫・信用組合								本店 支店
預金種目	普 通				当 座				
口座番号 (右づめ)									
住 所	(電話 —)								
フリカナ							届 出 印		
口 座 名義人									

振 込 先 口座番号	02720-8-28449
振 込 先 加入者名	苫小牧市会計管理者
振 込 日	毎月 2 5 日

※ 振替開始は、申込みのあった翌月以降からの振替となり、ご依頼月に振替できない場合がありますのでご了承ください。

金融機関様 私は、上記指定預金口座から口座振替により納付することにしたいので下記事項確約のうえ依頼します。

- この口座振替契約に基づく口座振替納付は、貴店（組合）所定の方法で処理されること。
- 指定預金残高が振替日において、納付書の金額に満たないときは、私に通知することなく納付書を返却されても異議はないこと。
- この口座振替契約は貴店（組合）が必要と認めた場合には、私に通知されることなく解除されても異議はないこと。
- この取扱いについて仮に紛議が生じても貴店（組合）には迷惑をかけないこと。
- 還付金が生じたとき、申し出がない場合は、引落口座へ返還すること。（ゆうちょ銀行除く）

浄化槽設置整備事業資金
年 月 日 貸 付 金 償 還 金 預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書

(依頼者控)



納入 名義 人	住所	(電話 —)	
	フリ カナ		
	氏名	生年月日 大・昭・平 年 月 日	

金融機関	銀行・信用金庫・信用組合								本店 支店
預金種目	普 通				当 座				
口座番号 (右づめ)									
住 所	(電話 —)								
フリカナ							届 出 印		
口 座 名義人									

振 込 先 口座番号	02720-8-28449
振 込 先 加入者名	苫小牧市会計管理者
振 込 日	毎月 2 5 日

※ 振替開始は、申込みのあった翌月以降からの振替となり、ご依頼月に振替できない場合がありますのでご了承ください。

金融機関様 私は、上記指定預金口座から口座振替により納付することにしたいので下記事項確約のうえ依頼します。

- この口座振替契約に基づく口座振替納付は、貴店（組合）所定の方法で処理されること。
- 指定預金残高が振替日において、納付書の金額に満たないときは、私に通知することなく納付書を返却されても異議はないこと。
- この口座振替契約は貴店（組合）が必要と認めた場合には、私に通知されることなく解除されても異議はないこと。
- この取扱いについて仮に紛議が生じても貴店（組合）には迷惑をかけないこと。
- 還付金が生じたとき、申し出がない場合は、引落口座へ返還すること。（ゆうちょ銀行除く）

苫小牧市長 様



納入 名義人	住所	(電話 -)	
	フリカナ	生年月日	
	氏名	大・昭・平 年 月 日	

金融機関	銀行・信用金庫・信用組合										本店 支店
預金種目	普 通 当 座										
口座番号 (右づめ)											
住 所	(電話 -)										
フリカナ									届 出 印		
口 座 名義人											

振 込 先 口座番号	02720-8-28449
振 込 先 加入者名	苫小牧市会計管理者
振 込 日	毎月 2 5 日

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

.....